

経営学部 リフレクションペーパー

2017年度 <前期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 商学A (火曜5限), 流通システム論I (火曜2限・木曜6限の2クラス開講)
1. アンケート結果に対する総評 流通システム論I・火曜2限クラス(8.5)は、昨年度(水曜2限クラス8.3, 水曜3限クラス8.1)と比較して評価が若干ではあるが改善された。木曜6限クラス(8.9)については昨年度(9.0)とほぼ同様、商学A(8.3)は昨年度と全く同じ評価であった。 昨年度と同様に、流通システム論Iでは板書スタイル、商学Aではパワーポイントのスライドショーを活用したスタイルで授業を行った。流通システム論Iの自由記述欄においては、「授業内容がとてもわかりやすく、授業を受けていて興味が持てた」、「黒板の図や表がわかりやすかった」、「参考資料で色々な紙(新聞記事等、本書類作成者による注)を配布していて具体的に物事を考えることができました」など、授業のスタイルに対する好意的なコメントが多かった。特に黒板に書く図については、昨年度の反省が活かされたと考えている。今年度の反省点として、例年と同様に私語の多さについての不満が散見された。加えて新たな傾向として、「黒板がみにくかったため、もう少し大きい字で書いてほしかった」、「黒板の字が下に書きすぎてみえない」など板書に対する不満が散見された。 商学Aでは、「授業中のアンケート(スマートフォンをクリックして利用した双方向授業の試み)がおもしろかった」、「VTRを使い生徒たちの興味を保ったまま授業が出来ていた」、「パワーポイントもわかりやすい」など、こちらについても授業のスタイルを評価するコメントが多く見られた。なお、今年度は予・復習を促すための試みとして、ユニパの小テスト機能を活用して授業内容を翌日以降に復習するための教材を作成した。これについては、「復習をくせづけることができるのがよかった」という意見がある一方で、実際の回答率は概ね3-4割程度にとどまっており、また「宿題(復習用教材のこと)はその日のうちにしたかった」というコメントも見られた。運用面で改善の余地があるものと考えられる。 (※ カッコ内の数値は各科目の10点法による評価の平均値)
2. 授業を行う上で工夫した点, 良かった点 流通システム論I・商学Aともに、昨年度から授業のスタイルを大きく変更したわけではなかったが、昨年度のアンケートでの学生からのコメントを踏まえて、上記の通り細かな改善を試み、一定程度の成果が見られた。
3. 今後の改善点 授業内容やスタイルを大きく変更することは、現時点では検討していない。板書の字の見やすさ、静粛な授業環境、聞きやすいマイクの音量などについて、学生からの要望を踏まえて改善したい。
4. 学生へのメッセージ ご協力ありがとうございました!